

令和7年度第1回立川市観光振興計画協議会 議事要旨

会議名称	立川市観光振興計画協議会
開催日時	令和7年12月18日(木) 午前9時～午前11時
開催場所	立川市役所 203 会議室
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 産業まちづくり部長挨拶 3. 委嘱状伝達 4. 委員自己紹介 5. 会長及び副会長選出 6. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 立川市観光振興計画協議会について【資料1】 (2) 立川市第4次観光振興計画の概要について【資料2】 (3) 立川市第4次観光振興計画の進捗状況について【資料3】 (4) 話題提供 立川市来訪者データ【資料4】 (5) 意見交換 7. その他
配布資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 立川市観光振興計画協議会について 2. 立川市第4次観光振興計画の概要 3. 立川市第3次観光振興計画の実施状況と第4次観光振興計画の戦略と施策 4. 立川市来訪者データ 5. 立川市観光振興計画 <p>参考・立川市第4次観光振興計画 ・立川市観光振興計画協議会設置要綱</p>
出席者	<p>[構成員] 会長 中野史朗、副会長 岩下光明、田中光徳、白須克維、峰岸徹、矢部直人、古屋亜希子、住吉あゆみ、太田勇（産業まちづくり部長）</p> <p>[オブザーバー] 新海きよみ（立川観光コンベンション協会事務局長）</p> <p>[事務局] 津崎政人（産業観光課長）、石井宏通（観光振興係長）、北澤未来（観光振興係）、佐藤岳（観光振興係）</p>
欠席者	高島優、山口繁樹
公開及び非公開	公開
傍聴者数	1人
担当	産業まちづくり部産業観光課観光振興係 電話 042-528-4317

1. 開会

2. 産業まちづくり部長挨拶

第4次観光振興計画は「行政だけでなく、地域・事業者と一体となって取り組む計画」である。形式にとらわれず、楽しく、前向きに議論していきたい。

3. 委嘱状伝達

4. 委員自己紹介

5. 会長及び副会長選出

会長に中野委員、副会長に岩下委員が選出。

6. 議題

(1) 立川市観光振興計画協議会について

事務局より資料1に沿って説明。協議会の役割、設置期間、開催回数及び必要に応じて関係者を招致できる点について説明。

(2) 立川市第4次観光振興計画の概要について

事務局より資料2に沿って説明。

【質問、ご意見】

(会長)

個別の施策についての検討はこれからだが、JR立川駅北口デッキのアーチの塗直しはあるか？立川市のシンボルなので景観の維持のために必要ではないか。

→(事務局)まちづくり部門に確認したい。

(3) 立川市第4次観光振興計画の進捗状況について

事務局より資料3に沿って説明。

第3次に引き続き、6本の戦略を設定。

第3次計画に基づく進捗状況を受けて、第4次計画における戦略毎の施策、具体的な取組を説明。

【特筆すべき内容】

- ・戦略1…観光データを用いた市場調査、ガストロノミツアターの開発
- ・戦略2…MaaS推進協議会との連携、各分野の相互送客事業
- ・戦略3…ガストロノミーアターの開発、集客エリアの活用支援
- ・戦略4…多摩地域インバウンド受け入れ拡大のためのガイド人材養成・育成事業
- ・戦略5…観光データの定量的な観測と蓄積

・戦略6…東京多摩西部広域経済連携協議会の取り組み

各委員で把握している取組等があれば、事務局までご教示いただきたい。

【質問、ご意見】

(副会長)

「施策3-1 立川ブランドを創出する」について、まちのテーマ（アニメのまち、音楽のまち等）を明確にするべき。観光インフラの構築を。

「戦略4 立川をしらせる」「施策6-1 広域的な観光振興に向けた体制や環境を整える」について、PRキャラバン隊の結成、銀座にアンテナショップを出す、個店毎にパンフレットを相互に置くなどといった地上でのPR（リアルな発信・現地での仕掛け）が重要。

(4)話題提供 立川市来訪者データ

事務局より資料4に沿って説明。

他市観光協会等を参考にダッシュボードを作成した。可視化したいもの等あればご意見をいただきたい。また、各所属で蓄積されているデータ等ご提供いただいて掛け合わせていきたい。

【質問、ご意見】

●立川市 月別来訪者数(2023-2025)について

(A 委員)

国営昭和記念公園は今年11月に60万人来場を記録（開業40年以来最多）。

夜間入場者も過去最多33万人となった。夜間開園期間中に紅葉のピークが収まったことが要因か。

園内バスルートの変更により、立川口をライトアップした影響もあり、立川駅方面からの動線が強くなった印象。

(副会長)

来訪者数の推移は国営昭和記念公園の影響が大きいと感じる。国営昭和記念公園のみの来場者数を抜きだして比較してほしい。

(B 委員)

来訪者数前年比で7月は伸び率が大きかったとのことだが、訪問地点毎の来場者の伸び率を出すことは出してみるとよい。

●2025年 四半期別検索キーワードランキング

検索行動の変化（SNS、地図、AI検索）を踏まえながら、活用を模索したい。

(5)意見交換

(C 委員)

都内で大規模にライトアップをしている公園は少ない。インバウンドへのリーチとして

PRの仕方に伸びしろがあるのでは。

(D 委員)

商工会議所ではMaaS推進事業として、3輪電動キックボード導入の実証実験中(11/20～12/31まで)。国営昭和記念公園利用者に対し、広告を打ちながら利用を促進する。50代以上の回遊性が低いというデータから、50代以上にターゲットを絞って取組を実施中。

(会長)

立川のたいこぼん(立川観光コンベンション協会推奨認定品)の審査会を3月に開催し、さらに品数を増やしていく。立川観光コンベンション協会としてもバラ撒き用土産品として「たまとぼく」を開発した。

(E 委員)

立川のたいこぼん商品がTiSTORE(国営昭和記念公園 花みどり文化センター内)でまとめて買えることも魅力的。ラッピングになる袋や包みがあるとよいのではないか。

(B 委員)

花火大会など大型イベントも含めて、シェアサイクルのデータを活用するなど、来訪者のあしあと調査ができるとよい。

(事務局)

市内でのイベント開催や来訪者が戻ってきている中で、イベントのダブりによる機会損失や連携不足が生じてきている。立飛エリアでのイベント担当とも連携しながら、市全体として機会損失を防ぐためウェルカム立川委員会の位置づけや役割の整理も含め、機能強化の必要性を感じている。検討していきたい。

7.その他

次回、令和8年3月開催予定。

以上、閉会